

令和 6 年度 第 1 回 半田市食物アレルギー対応委員会 議事録要旨

日時 令和 6 年 8 月 5 日（月） 13:00～13:50

会場 半田市学校給食センター研修室

出席委員

石川 正彦（半田市学校保健会会長）

林 直史（アレルギー専門医）

石川 誠子（半田市 PTA 連絡協議会副会長）

田村 悦子（校長会代表）、須澤 誠治（校長会代表）

大野 孝恵（養護教諭代表）、森田 知幸（教育部長）

藤川 紀子（教育委員会指導教諭）

以上、9 名中 8 名出席（会議成立）

事務局

榊原 秀夫（学校給食センター所長）、杉本 朱美（学校給食センター副主幹）

新美 直美（学校給食センター主事）、原田 陽子（学校給食センター栄養士）

谷山 永里子（栄養教諭）、今井 恭子（栄養教諭）

久野 有美（栄養教諭）、宮園 結衣（栄養教諭）

【会議概要】

1 所長あいさつ

2 委員長・副委員長の選任

3 議題

（1）報告事項

事故事例について（資料 1）

（2）協議事項

アレルギーを含む食品に関する表示の変更及び令和 7 年度からの変更に伴う「半田市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」改訂（案）について（資料 2）

4 その他

【議事要旨】

議題（1）報告事項

事故事例について（資料 1）

（資料 1）に沿って説明

【質疑】

- Q （委員）事例 1 については、経過観察というのはあいまいな感じで、疑わしいのは食べさせないというのが給食ルールだと思うで、学校は除去して家で食べて症状がでなければ給食解除としたほうが良いと思う。貝類・いか・たこ以外にアレルギーはあるか。
- A （事務局）ほかにもくすみ・えび・かにのアレルギーを有していて完全除去のため除去食を持参している。
- Q （委員）基本的に甲殻類・軟体類・貝類はメインのアレルゲンが同じと言われているため、一つアレルギーがあればすべて除去しておいたほうがよい。
- Q （副委員長）教員のアレルギーに対する知識は高くない。経過観察中という言葉は学校では様子を見ながら食べていいという判断をしてしまいかねない。誤解を生みやすい表現だと思う。
- A （委員）生活管理指導表にどのようにかいてあるか確認するのがよいと思う。
- Q （事務局：榊原所長）経過観察をどこでするのかというところ、学校給食ではどういう対応をとればいいのかというところがきちんと指示されているとありがたい。
- A （委員）
どの病院でも検査や負荷試験などをした結果を記載してもらえるとよい。

議題（２）協議事項

アレルゲンを含む食品に関する表示の変更及び令和 7 年度からの変更に伴う「半田市学校給食における食物アレルギー対応の手引き」改訂（案）について
（資料 2 変更・追記箇所について説明）

【質疑】

- Q （委員）「かに」は給食ででるのか。
- A （事務局）「かに」はあまり使われない食材である。
- Q （委員）甲殻類としてまとめてもよいのではないかと思う。
- Q （委員）41 ページの様式は保育所の様式になる。半田市独自で幼稚園用のものを作るか、学校用のものを流用してもよいと思う。

まとめ：本日の意見を踏まえて、事務局は修正したものを教育委員会へ報告したうえ、各学校へ配付する。

————（終了）————